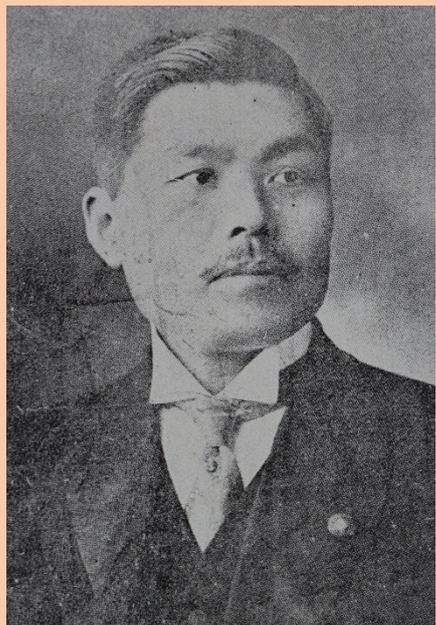


関和知(1870~1925)

明治3年(1870)、長生郡東浪見村綱田(現千葉県長生郡一宮町綱田)生まれ。訓導(教諭)となり明治19年(1886)、綱田小学校の校長となる(同年10月~翌年)。

明治25年(1892)、教員を辞めて上京、東京専門学校(現早稲田大学)に入学。卒業後は千葉民報社に入社し、記者として活動する。

明治35年(1902)渡米。明治40年(1907)に帰国し、東京日日新聞(現毎日新聞社)編集長となる。翌年、第10回衆議院議員補欠選挙に立候補、一度は落選するも繰り上げ当選し議員となる。以後政界を舞台に活躍し、大正13年(1924)には加藤高明内閣の陸軍政務次官に就任。「次は入閣か」と地元では期待されるも、翌年病のため死去した。



(写真：関和知著『近代政治の理想と現実』(1925年)掲載写真より)

《関連事業》

一宮町歴史資料展示室(一宮町中央公民館2階ロビー)

◆企画展示「没後100年 関和知の手紙」

・会期：令和7年1月17日(金)~3月24日(月)

【会場】

一宮町中央公民館 大会議室
(千葉県長生郡一宮町一宮2461)

JR外房線 上総一ノ宮駅から
徒歩約10分

【駐車場】 100台程度

※施設内は土足厳禁、スリッパのため
必要な方は中履きをお持ちください。

【会場案内図】

